

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年9月8日 NO.46 (246)

オー君 「モンタ博士！『国立七小検定』って、どうしてやるの。」

モンタ博士「それはね、みんなの国立七小は、とてもいい学校だろう。」

花ちゃん 「もちろんですよ。私、国立七小が大好きです。」

モンタ博士「そうだろう。まず、みんなには自分の学校である国立七小を大好きになっ
てもらいたいし、自分たちの学校のまわり、つまり、谷保や富士見台の
地域をたくさん知ってもらいたいんだよ。」

オー君 「たくさん知ると、どんないいことがあるのかな。」

モンタ博士「そうだね。自分の生まれ育った場所がますます好きになるだろうし、大切に
するようになるよ。そして、自分たちの地域のステキな場所をたくさん見
つけることにより、誇りに思うし自慢もできるね。」

花ちゃん 「そのとおりですね。いろいろと知ると、さらに興味や関心が高くなり、もっ
ともっと国立市や谷保や富士見台が好きになるということですね。」

モンタ博士「モンタ博士は、国立七小に来てからまだ2年半だけど、この地域が大好きな
んだ。例えば・・・。」

オー君 「田んぼや畑があり、ハケ近くの自然が残されているのがいいいでしょ。」

花ちゃん 「それから、甲州街道や谷保天神など、古くからの歴史もいっぱいありますね。」

モンタ博士「そうだろう、そうだろう。自分たちの地域をもう一度見直して、大好きにな
ってもらいたいね。」

オー君 「でも、ぼく、難しい検定はいやだな。」

花ちゃん 「いろいろと覚えるのって大変なのでは・・・。」

モンタ博士「そんな心配しなくてもいいよ。みんなが楽しく学べるように、いろいろと工
夫していこうと思っっているんだ。」

オー君 「いろいろと工夫するって、どうするのですか。」

モンタ博士「まず、『国立てくてく3』の次号とその次に、『国立七小検定』の『傾向と対策』となる参考のようなヒントを書いていくつもりなんだ。」

花ちゃん「そうか、それを読んでおけば、検定にも合格するということですね。」

モンタ博士「それから、合格は点数により、『初級・中級・上級・マスター』と分けようかと考えているんだ。全問正解すればマスターだけど、これは難しいね。」

オー君「それで、モンタ博士！その『国立七小検定』はいつやるのですか。」

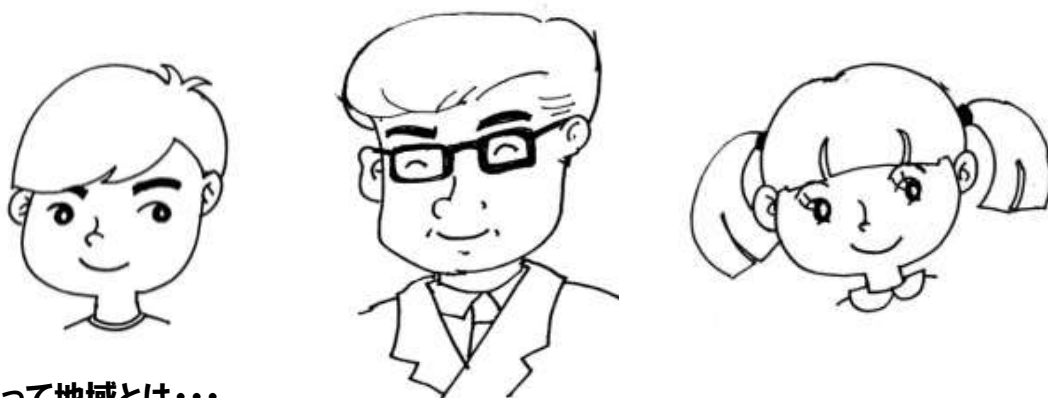
モンタ博士「9月17日（木）を予定しています。低学年は2時20分から、高学年は3時15分から行います。検定申込用紙も作ろうかと考えているんだ。」

花ちゃん「なんだか楽しみになってきましたね。私、検定にチャレンジします。」

モンタ博士「あのね、それからね、検定の前にみんながたくさん合格してもらえるように〇×の模擬テストもたくさん作ろうかと思っているんだ。」

オー君「模擬テスト！それをやれば合格まちがいなしですね。」

モンタ博士「そうだよ。校舎のあちこちにはっておくからみんなで見てください。」



子供達にとって地域とは・・・

子供達にとって地域とはどのようなものなのでしょうか。様々な考え方があるかと思いますが、地域とは、常日頃より何度も子供達が接する場であり、子供達が一番初めに接する「社会」そのものであると考えています。豊かな動植物などの自然、田や畑、森や川などの地形や、商店街、学校、交通機関、公共施設などは、子供達にとって、最も身近に学ぶ場であり、友達と楽しく遊ぶ場であると思います。また、地域には多くの人々が営み生活しています。そこで、地域の方々と一緒に生活・経験し、学校では得られない大切な結びつきや関わりを通し、多くのことを知ることもできるでしょう。そして、子供達は地域に育てられ見守られながら、様々な事を通し、地域への愛着と誇りが培われるものと思います。

子供達が自分の生まれ育った谷保や富士見台などの地域の良さを知り、自然と接し、歴史を学ぶことはとても大きな意義があることだと思います。今回取り組む「国立七小検定」もそのための一つの試みであり、一人でも多くの子供達が検定にチャレンジしてくれることを心より願っています。